

令和2年 新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっており、観音寺市でも様々な悪影響が出ております。そこで、管内事業所にどのような影響が出ているのかを調査いたしました。事業所の皆様におかれましては、大変な情勢の中、本調査にご協力いただき、ありがとうございました。

I 調査概要

調査期間	令和2年4月中旬～5月22日
調査対象	観音寺商工会議所管内事業所
調査方法	書面によるアンケート形式
回答事業者数	240事業所

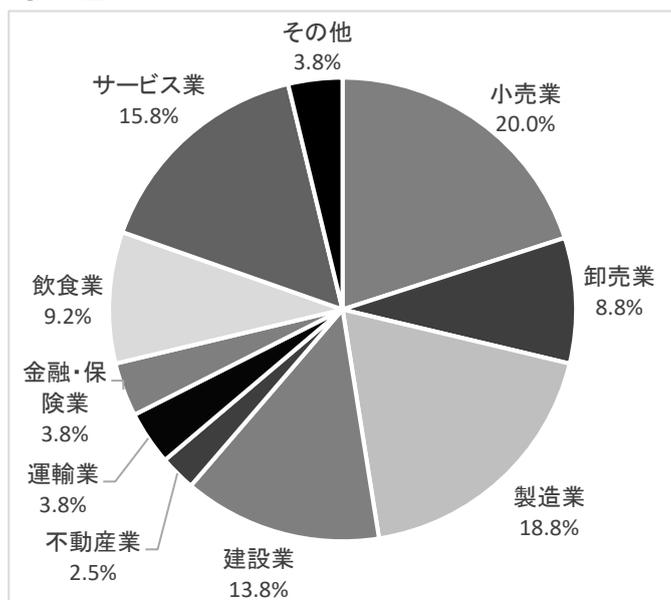
II 調査結果の要件

- ・回答事業所の約7割が前年同期と比べて売上が減少している。
- ・売上減少には、取引先からの受注減少や消費者購買意欲減少などが大きく関わっている。
- ・売上減少に対して、融資制度の利用や経費削減で対応している事業所が多い。

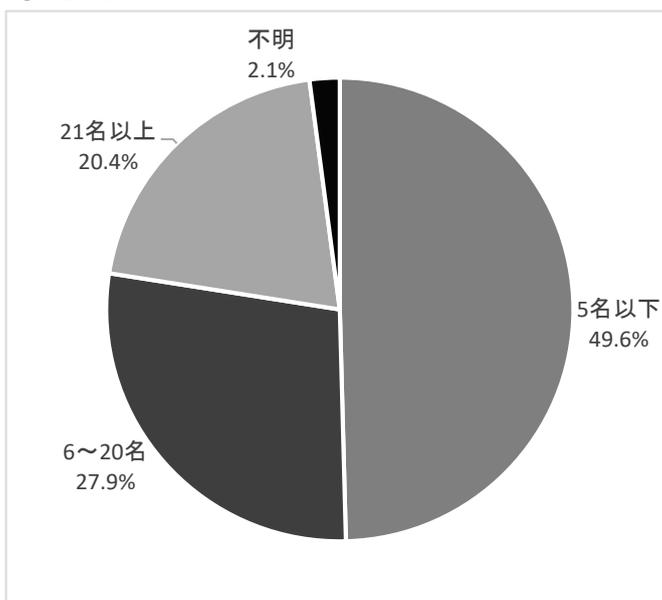
III 調査結果

回答事業者の業種、従業員数、各項目の回答結果は以下の通りです。

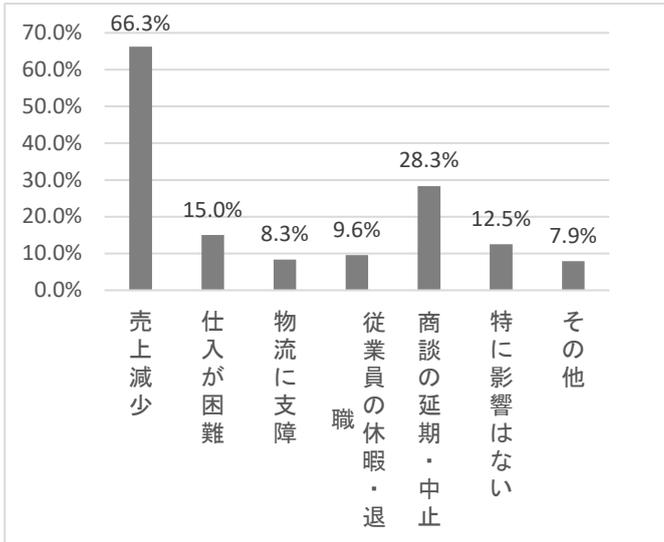
①業種



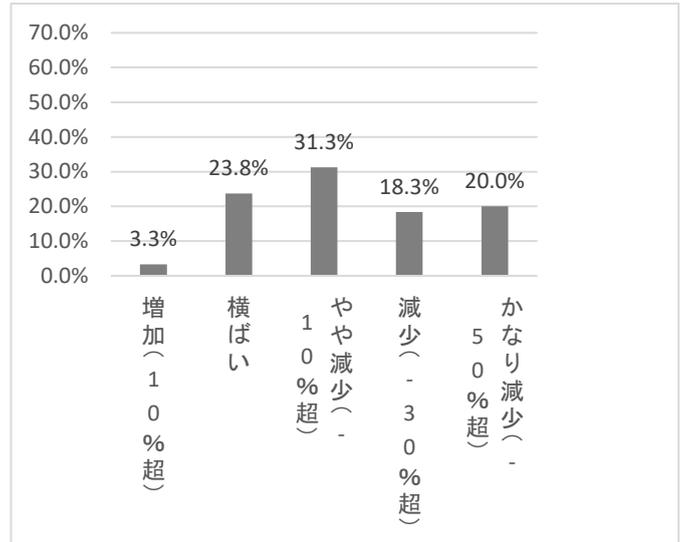
②従業員



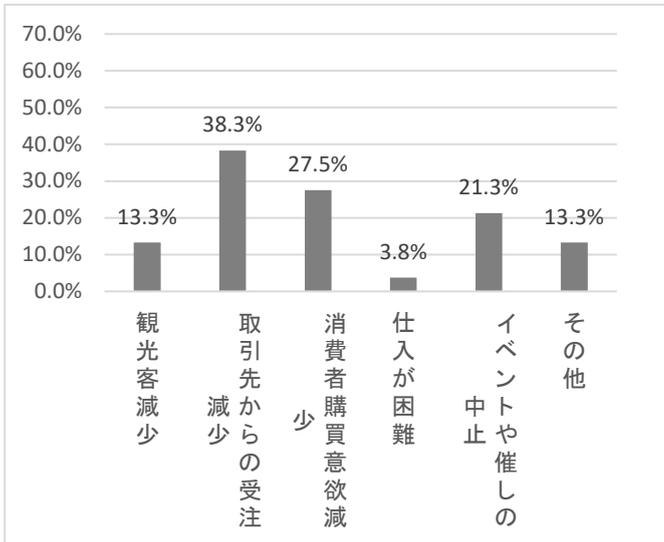
③企業としてどのような悪影響があったか？



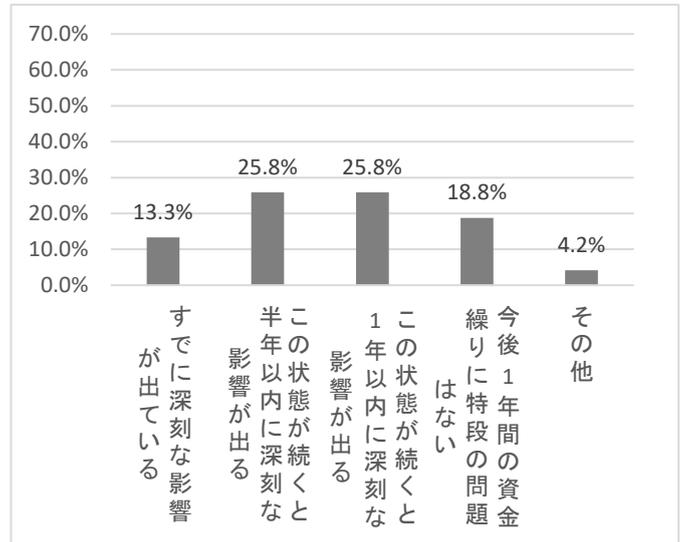
④直近1か月間の売上高は前期同期と比較してどうか？



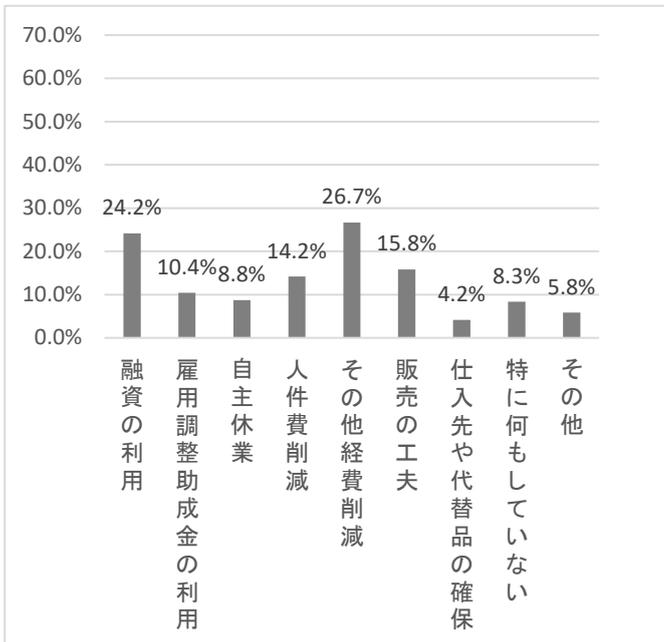
⑤売上高が減少している要因と考えられるものは？



⑥資金繰りにどの程度影響が出ているか？



⑦具体的な対策として何を行ったか？



今回の調査で、やはり業種に関わらず、多くの事業所の皆様に様々な悪影響が及んでいることが分かりました。外出自粛や休業などであらゆる経済活動が停滞してしまい、大幅な売上減少が生じています。